

つたえる

出典

- ◆ 滋賀県総合教育センター「児童の情報活用の実践力を高める授業づくりのあり方」研究成果物「児童の情報活用の実践力育成につながるICTを活用した授業実践集」より

ねらい

「伝える」に焦点を当てた児童生徒がICTを活用する授業の事例について知る。



算数科 第2学年 「かけ算の九九」

学習のねらい

- ・ かけ算の九九を使って数えられるものを校内で集める。
- ・ 見つけたものの計算方法をまとめ、自分の考えを伝える。

学習活動(1 単位時間)

ICT活用の具体 (◇) 留意点 (・)

1. めあてを確認する。
2. 校内を探検し、九九を使って数えられるものを探し、写真を撮る。
3. 記録した画像に、考えた計算方法を書き込む。
4. 考えた九九をクラスで伝え合う。
5. 振り返りを行う。

- ◇ タブレットの写真撮影機能を活用して、九九を使って数えられるものを画像として記録する。
- ◇ 撮影した画像から紹介したいものを選び、聞き手に考えた計算方法が伝わるよう、手書き機能を活用してまとめる。
- ◇ 児童同士でタブレットの画像を見せ合って、自分の考えを伝え合う。

ICTを活用した効果

タブレットの写真撮影機能や画像への書き込み機能を活用することによって、身の回りの生活でかけ算が利用できることをイメージしながら、分かりやすく伝えることができた。

算数科 第2学年 「かけ算の九九」



授業の振り返りから

説明する際に、撮影した画像に分かったことや考えたことを書き込むことによって、相手に分かりやすく伝えることができました。



Point

見つけたことや考えたことを伝える際に、言葉や文章だけでなく画像を加えることによって、より分かりやすく相手に説明することができます。

国語科 第3学年 「へんとつくり」

学習のねらい

- ・ 漢字の「へん」が漢字の左側にあり、おおまかな意味を表していることを知る。
- ・ 漢字の「へん」に興味・関心を持ち、同じ「へん」を使っている漢字を考える。

学習活動（1単位時間）

ICT活用の具体（◇）留意点（・）

1. めあてを確認する。
2. 「へん」が何を表しているのかを知る。
3. 「きへん」の漢字を考える。
4. グループで考えた漢字を全体で伝える。

※「にんべん」や「さんずい」についても同様の活動を行う。
5. 振り返りを行う。

- ・ はじめは個人で考えさせる。その後、グループで考えた漢字を出し合わせる。
- ◇グループで考えた漢字を出し合う際は、タブレットに考えた漢字を書き込む。
- ◇タブレットに書き込んだ「きへん」の漢字を大型テレビに映し出し、全体で交流する。

ICTを活用した効果

ICTを活用したことによって、全てのグループの考えを瞬時に提示することができたり、各グループの考えを再度提示することを容易に行うことができた。

国語科 第3学年 「へんとつくり」



授業の振り返りから

タブレットの画面を大きく映し出したことで考えた漢字を全体に伝えやすくなった。また、細かい部分を拡大して見せられたので、みんなで漢字を確認しやすかった。



Point

発表を行う際に、ICTを活用することによって、伝えたい部分を拡大して分かりやすく伝えることができます。また、説明をしながら、強調したい部分に色をつけたり、更に拡大したりするなど、分かりやすく伝える工夫もできます。

総合的な学習の時間 第5学年 「生命の源『水』を調べよう」

学習のねらい

- ・びわ湖フローティングスクールで学んだことや考えたことを、クラスみんなに分かりやすく伝える。

学習活動（2単位時間）

ICT活用の具体（◇）留意点（・）

1. めあてを確認する。
2. 発表をするとき、発表を聞くときに気をつけることを再確認する。
3. びわ湖フローティングスクールで学んだことや考えたことを発表する。
4. 発表を聞いた感想を書く。
※3～4を繰り返し行う。
5. 振り返りを行う。

- ・事前にプレゼンテーションソフトを活用して、発表資料を作成する。
- ◇スライドに合わせて、スライドの送り方や話し方を工夫する。
- ・発表を聞き、質問がある場合は発表者に聞くことができる時間を設ける。

ICTを活用した効果

プレゼンテーションソフトを活用して発表する際、スライドごとに書く項目を指定しておくことで、伝えたいことを焦点化して説明できるため、聞き手に伝わりやすい発表ができた。

総合的な学習の時間 第5学年 「生命の源『水』を調べよう」



授業の振り返りから

児童は、発表を行う際に、画像や図を効果的に活用することで、分かりやすい説明を行うことができた。他教科でも同じように使える場面があると考えた。



Point

伝える相手の人数や情報を伝える目的に応じて、模造紙やプレゼンテーションソフト、ワープロソフトなど、伝える手段を選択する力を育成することも必要です。

社会科 第6学年 「武士の世の中へ」

学習のねらい

- ・ 武士のやかたの様子から気付いたことや疑問を考え、単元のめあてをつくる。

学習活動（1 単位時間）

ICT活用の具体（◇） 留意点（・）

1. めあてを確認する。
2. 武士のやかたの様子から気付いたことや疑問を考える。
3. 気付いたことや疑問を発表する。
4. 気付いたことや疑問を基にして、単元のめあてをつくる。
5. 振り返りを行う。

- ◇電子黒板を活用して、気付いたことや疑問を全体で共有する。
- ◇必要に応じて電子黒板に書き込みを行い、気付いたことや疑問を共有しやすくする。

ICTを活用した効果

電子黒板に映し出した絵図に書き込んだり拡大したりして説明することによって、気付いたことや考えたことを分かりやすくクラス全体に伝えることができた。

社会科 第6学年 「武士の世の中へ」



授業の振り返りから

気付いたことや疑問に思ったことを発表する際に、電子黒板に書き込みながら説明をすることで、一人の気づきや疑問を全体のものすることが容易になった。

Point

電子黒板や大型テレビに画像や絵などを映し出し、書き込むことによって、一人の気づきや学びを、全体の気づきや学びへと広げることができます。